キロン

NO.4

63.3.30

カラムディの子どもたちにあってきます

カラムディ村の子どもたちに会って写真やスライドをとって来ます。現地のリーダーイディリスさんはじめ村の人たちに日本の人たちの熱い思いを伝えます。5月21日(土)婦人会館で報告会をする予定です。

4月4日出発!

おかげさまで350人以上のかたのご協力で目標額の200万をこえる募金が集まりました。基礎工事もはじまっています。4月4日留学生といっしょにバングラデシュへ出発します

帰国は4月24日の予定です。

第2回の集い終わる

3月5日(土)市立婦人会館で第2回の集いをしました。9月末の第1回から第2回の5ヶ月で200万を超えた募金の経過報告。これからどうするかなどが活発に話し合われました。「机やいすや教材はどうなってるんでしょう」「奨学金制度の基金をつくったらどうでしょう」などなど、カラムディの小学校の玄関にかざる「日本の人たちの写真」も新聞社のかたがとって下さいました。

ごめんなさいと伝えて

小6・女の子からの便り

新聞を読んだ子どもたちから手紙や募金が寄せられています。その中で小郡市の井上さんの手紙をご紹介します。「こんにちは。はじめまして。私は小郡市三国小六年の女の子です。私は私と同じくらいの子でも木の葉のノートにススで書く子どもたちがいるとは知りませんでした。とてもかなしくおもいます。そして今まで、ぜいたくをしていた分、このカラムディ村の子たちに、あやまらないといけないとおもいます。「ごめんなさい」と。バングラデシュに行った時、日本国の子があやまっていたと伝えて下さい。」

"こういう運動こそ大切"

＝海外青年協力隊員の声＝

一月にバングラデシュから帰ったばかりの海外協力隊員Fさんは北九州から来て下さって二年間の経験の中からこう話されました。「バングラデシュは国家予算の70%が海外援助。選挙も利権争いになりがちです。外国から薬の援助があっても病人の手にわたる前にどこかへ売られたりします。民間のグループから確実に向うの民間のグループへ。しかも次の世代をになう子どもたちのための学校をつくる。ほんとうの自立をたすける。こういう運動こそ大切です。」

大分 中津市 小5 男の子から

@ぼくは、小学校5年生です。そろそろに学校ができるように、お金をおくったので学校の前できるようにがんばってください!

会員になって下さい

同じアジア人として特に子どもたちのことを考えて行く仲間として会員になって下さい。会費はひと月500円。キロンをつくったり郵送したりそのほかの経常費になります。

旅費カンパをおねがいします

郵便振替 福岡 4-20036 大木松子

振込先 福相西新町 普408380 大木松子

ひと口 1000円

あと20万!(2人分航空券)

4月4日から24日までルス。現金書留は返送されてしまいます。